

松下幸之助記念財団 研究助成

## 研究報告

(MS Word データ送信)

【氏名】片雪蘭

【所属】大阪大学大学院人間科学研究科 博士後期課程3年次

## 【研究題目】

難民における移動と社会関係の人類学的研究  
—北インド・ダラムサラのチベット難民を事例に—

## 【研究の目的】(400字程度)

本研究は、北インド・ダラムサラにおけるチベット難民、特に「サンジョル」と呼ばれる新規難民に焦点を当て、どのように社会的ネットワークを紡ぎ、それが彼らの生き方にどのような影響をもたらしたのかを描くことが目的であった。具体的には、一人でヒマラヤを越えてインドへ来ることが多いサンジョルが、①故地から移動してきたことで突然断絶された社会的ネットワークをいかに再構築していくのかを明らかにし、さらに、②その社会的ネットワークがインドでの生計やその後の移動にどのような影響を与えているのか人類学的に分析することによって、アイデンティティ構築や文化構築といった既存のチベット難民研究から落ちこぼれた人々を記述する試みでもある。

## 【研究の内容・方法】(800字程度)

本研究の目的を果たすために私は2016年10月20日から2017年3月25日までの約5ヶ月間の現地調査を行なった。調査では、英語とチベット語を兼用し、必要に応じては英語が可能なチベット人に通訳を頼んだ。調査内容は、サンジョルのライフヒストリーを聞き取り調査し、仲間付き合いと生計活動の関係を明らかにするため参与観察を実施した。また、本研究はサンジョルの視点から難民としての生を見ていくことではあるが、より正確にサンジョルの実状を分析するために「シチャ(定着民)」と呼ばれるチベット難民2、3世とも比較した。

サンジョルの社会的ネットワークの構築を説明するためには、まず彼らの越境理由に注目する必要がある。サンジョルの越境理由は教育やダライラマに拝謁するためであることが主であるため、10代の時に一人でインドへ来ることが大概だ。調査中に聞き取りをした73人のインフォーマントのうち、知り合いを同伴せず一人でインドへ来たものは65人であり、7人が兄弟や親戚と来た。シチャは、家族がインドにいて、家業を受け継ぐことが多い反面、サンジョルは一人でインドに来ることで故郷での社会経済的ネットワークを失い、新しい関係を再構築することになる。同じ故郷の者であったり、同じ学校のものであったり、もしくはインドへ到着した後に難民レセプション・センターで偶然出会った者との関係がサンジョルにとっては最も重要な資本となる。それ以外にも、サンジョルはNGOの職員やダラムサラに来る外国人との関わりがとても重要となってくる。そして、この新しく創られたつながりによって生計の立て方や今後海外への移住先などが大きく変わっていくことが調査によって明らかになった。

特に現地調査で注目したのは、ダラムサラで出会ったサンジョル同士のグループが、最初は様々なカフェやレストランを転々としながら仕事をしてきたが、徐々にチベットに帰り、デリーに出稼ぎに行く者が増えてきた。その中で、ダラムサラに残られたサンジョルは、自分の仲間たちが各地に分散していることを利用し、特にインドのモノをチベットへ売り始めるビジネスを始めた。インドとチベット間におけるトランスナショナルな経済活動の基底には様々な要因があるが、本研究では主にサンジョルの社会的ネットワークがいかにこの経済活動を可能とさせたのかである。

【結論・考察】（４００字程度）

難民がホスト国で生計を維持し、経済的サポートや様々な支援を得るために、「人脈」や「コネ」に頼ることが多い。特に、信頼が厚い家族や親戚、同郷や同窓の者などの知り合いからは経済的支援はもちろん感情的支援を得ることができ、より実現可能な生計戦略へと繋がることができる。ここで述べる個人が持つ「人脈」や「コネ」といった能力はソーシャル・キャピタルであり、ソーシャル・キャピタルこそが難民にさまざまなサポートや資源へのコネクションを提供する。物質的、感情的支援はもちろんアドバイス、職業へのコネや経済的ネットワークにもつながる。さらに、知り合いとの友情やチャリティー団体、もしくは援助をする個人との関係からもソーシャル・キャピタルは生成される。

ダラムサラは、様々な人が共存している空間であるが、特にサンジョルが多く居住している。インド国内において、他の難民居住地よりダラムサラに多くのサンジョルが在留している理由は、ソーシャル・キャピタルの生成可能性が高いからだと考えられる。「ダラムサラは物価が高いからお金はすぐに儲けられないけど、知り合いが多いから他のところへは行かない。友達がいないと寂しいということもあるけど、海外への再移住に関する情報や仕事の情報が得やすいからね」と述べたあるインフォーマントのように、家族がインドにいないサンジョルにとってヨコのつながりが経済的ネットワークはもちろん未来の意思決定にも影響を与えていることが明らかである。